

過去の津波記録

元禄地震 1703年の津波記録がある位置

大正関東地震 1923年の津波記録がある位置

1 亂橋材木座

津波は最初豆腐川に浸入し、急速に400m位沖まで引き去った。そして、和賀江嶋が長・半島状に露出するとその約20分後に再び来襲して豆腐川を中心に付近一帯の家屋や護岸を破壊し、補陀洛寺辺りまで浸入したという。『鎌倉震災誌』

2 亂橋材木座

延命寺付近に達したという(滑川を遡上したのだろうか)『鎌倉震災誌』・羽鳥(1991)

3 由比ガ浜

滑川では海岸橋が流され、橋上方の低地より東方一帯の田畠に海水が入った『鎌倉震災誌』

4 由比ガ浜

海岸橋の四つ角に漁船が1艘打ち上がったという。『鎌倉震災誌』

5 由比ガ浜

江ノ電の旧由比ヶ浜停留所(現長谷5号踏切付近)で、濡れた女性の遺体が確認されたという。ここまで津波が到達したと推測できる。『大正鎌倉餘話』

6 長谷

第2震のおよそ20分後、はるか沖合に大波が現れた。その時、稻瀬川付近の砂浜には被災者数十名がいたが、全て避難したという。さらに、河口周辺では多くの家屋や護岸が流された。『大正鎌倉餘話』

7 坂ノ下

津波被害は海月楼とその周辺が激しく、家屋がほとんど破壊された。さらに県道(現星の井通り)の北側に達したという。『鎌倉震災誌』

8 坂ノ下

長谷駅前近くの「兵橋(駿河屋菓子店舗)」まで到達したという。羽鳥(1991)

9 坂ノ下

津波が鎌倉ホテル前で首まであがったという。羽鳥(1991)

10 極楽寺

第2震の20分ほどち、3m以上の津波が由比ガ浜方面に来襲し、余波が極楽寺川にも浸入したという。『鎌倉震災誌』

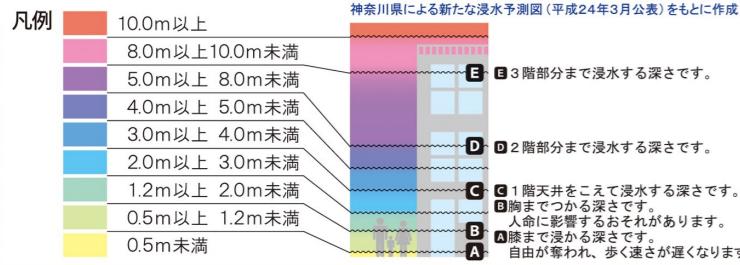
その他

流失家屋は、坂ノ下53戸、長谷30戸、乱橋材木座(現在の材木座と大町・由比ガ浜等を含んだ地域)30戸の計113戸であったという。『鎌倉震災誌』

【参考文献】
・『鎌倉震災誌』1930、鎌倉町役場
・羽鳥徳郎、1991、「鎌倉における明応(1498)、元禄(1703)、大正(1923)津波の浸水域」「歴史地震」7、歴史地震研究会
・中村菊三『大正鎌倉餘話』1982、かまくら春秋社
・萬年一剛、2013、「神奈川県逗子市、鎌倉市、藤沢市における1923年大正関東地震による津波~新資料と国土地理院DEMに基づく再検討~」『歴史地震』28、歴史地震研究会

津波ハザードマップ

県想定型地震による浸水の深さ



南海トラフ巨大地震と県想定南関東地震による想定浸水範囲

■ 国の南海トラフを震源とする巨大地震の想定浸水範囲
中央防災会議「南海トラフ巨大地震モデル検討会(第二次報告)」(平成24年8月29日発表)のうち、鎌倉市の影響が最も大きくなるケースを採用
■ 県想定南関東地震の想定浸水範囲
神奈川県による新たな浸水予測図(平成24年3月公表)による

凡 例

避難施設

()内は、その場所の海拔値です。
△ 避難所(ミニ防災拠点)
状況に応じて市の判断で開設します。

□ 补助避難所
避難所(ミニ防災拠点)に収容することが不可能な場合に開設します。

△ 津波来襲時緊急避難空地
津波の発生が予想され、緊急的な避難が必要となったときの一時的避難施設(屋外)です。

△ 津波来襲時緊急避難建築物(津波避難ビル)
津波の発生が予想され、緊急的な避難が必要となったときの一時的避難施設(屋内)です。

● 一時滞在施設(帰宅困難者用)
災害発生により帰宅の手段を失い、駅の周辺・市街地・社寺・名所跡などに滞留している人のために開設します。

■ 福祉避難所
避難所(ミニ防災拠点)や補助避難所に収容することが困難な、要保護高齢者や障害者のために開設します。

△ 広域避難場所
火災の発炎拡大による炎や煙などから、一時に身を守る空地です。

公共施設

○ 市役所
○ 行政センター

◎ 警察署・交番・駐在所

△ 消防署・消防出張所

△ 防災行政用無線

- JR鉄道

||||| 私鉄

その他

▲ 津波注意看板
(数値は設置場所の海拔値)

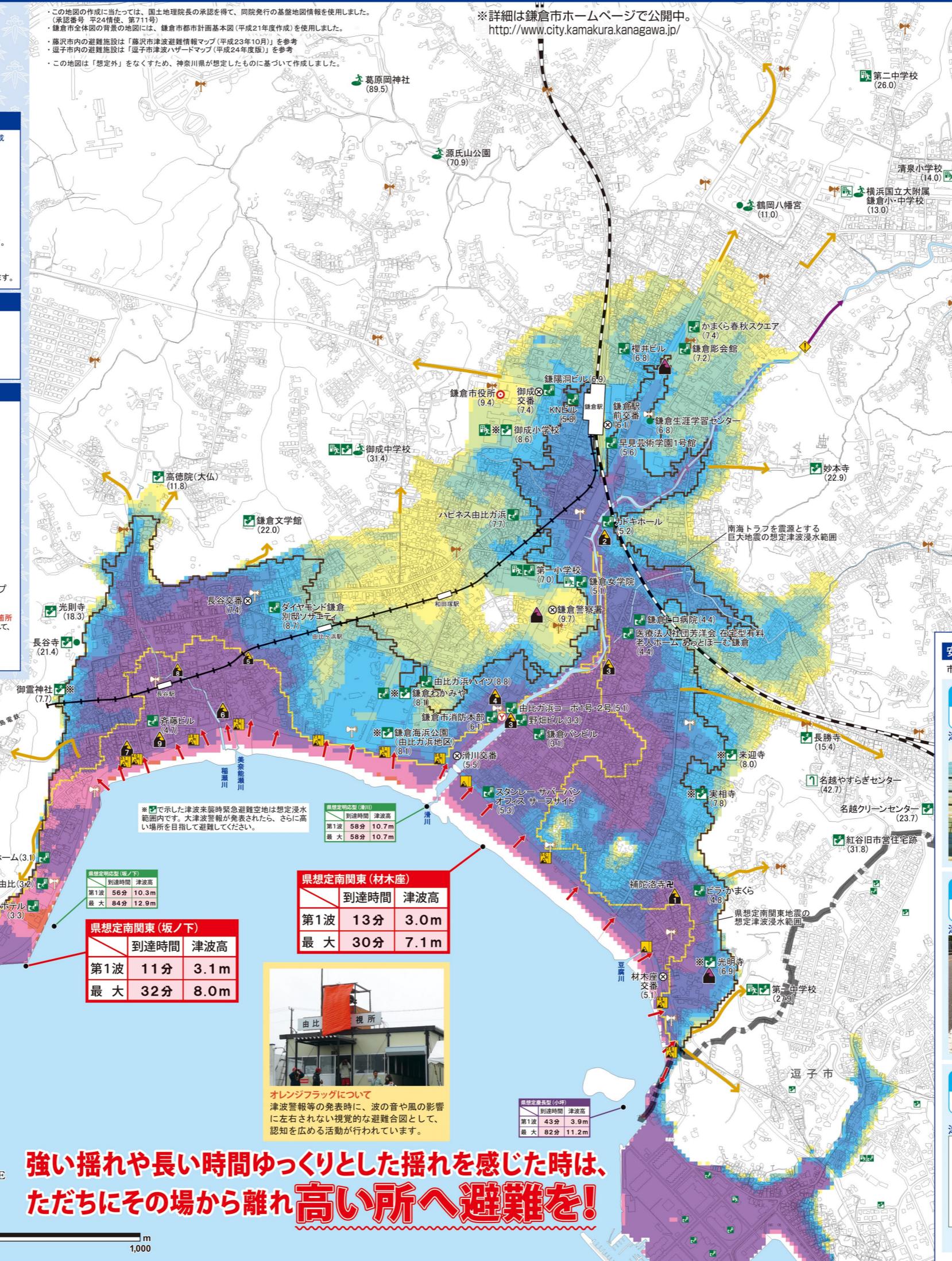
→ 海岸からあがる階段・スロープ

参考避難経路
鎌倉の山の岩盤は柔らかく崩落しやすい箇所があります。地震発生後の状況で判断して、行動してください。

△ 河川遡上のおそれがある箇所

この地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しました。
・鎌倉市全体の背景の地図には、鎌倉市都市計画基本図(平成24年度作成)を使用しました。
・藤沢市内の避難施設は「藤沢市津波避難情報マップ(平成23年10月)」を参考
・逗子市の避難施設は「逗子市津波ハザードマップ(平成24年度版)」を参考
・この地図は「想定外」をなくすため、神奈川県が想定したものに基づいて作成しました。

※詳細は鎌倉市ホームページで公開中。
<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>



安全な避難のために

市では、津波による浸水の危険性や、安全な避難を促すための様々な取り組みを行っています。

津波注意看板・海拔表示板

市は、津波注意看板や海拔表示板をとりつけています。

津波注意看板



海拔表示板



津波避難経路路面シート

安全な避難誘導のために、避難施設へ向かう道路に津波避難経路の路面シートを貼っています。

津波避難経路路面シート



津波避難ビル標識

